

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファームが22名の受講生とともにスタート！」

「いわて新農業人チャレンジファーム」は、これまで本格的に農業を学ぶ機会がなかった半農半Xや就農を志向する方々などに、多様な形で本県農業に関わりを持っていただくことを目的に、当公社が令和2年度から開講しています。

令和4年度の受講生は22名（平日コース11名、休日コース11名）で、初めて県北沿岸地域から受講生を迎えました。

令和4年4月15日に、盛岡市内で入講式を行い、年度始めで御多用なところ、岩手県農林水産部の照井農政担当技監、雫石町の天川農林課長にご列席を賜りました。

入講式後の、第1回講義は、岩手県農林水産部農業普及技術課の藤原主任から、「県北・県央・県南地域の農業の特徴」や「主要農畜産物の全国順位」、「ブランド化の取組」などを説明していただきました。

受講生は、あらためて岩手県の農業への関心が高まったようです。

本年度の講義は、13種類の野菜栽培や農業機械の操作などの座学と実習とがセットになって、1月27日まで続きます。

第2回講義は、令和4年4月22日（金）、23日（土）に雫石町南畑で「農業基礎（土づくり）」を行います。



入講式の様子



第1回講義「岩手の農業」



歓迎の言葉を述べる高畑施設長



資料を熱心に読む受講生